

■会長／八幡 一成 ■幹事／小針 哲郎

◆司会＝SAA 小口 泰幸 副 SAA 三澤 郁馬

◆ゲストビジター＝中部電力パワーグリッド株式会社 清水好一様

◆出席報告

本日	64.58%	17 名欠席
前回訂正	81.25%	9 名欠席

◆ラッキーナンバー＝No. 38 小平直史君

◆ニコニコボックス＝●善治直樹君＝誕生日祝いのお花をいただきましたありがとうございます。私のための制度ありがとうございます。●八幡一成君＝本日より入会の清水様、入会ありがとうございます。本日卓話をしていただく南沢様 よろしくお祈いします。●宮沢幸一君＝本日は会計報告させていただきます、よろしくお祈いします。●平林明君・小口泰幸くん・佐藤忠士君・吉越潔君・玉本広人君＝清水さん諏訪 RC へようこそ。●植野正人君＝清水さんよろしくお祈いします。●五味武嗣君・飯田兼光君＝清水所長ようこそロータリークラブへ。●吉越潔君・佐藤忠士君＝南澤浩様、本日の講演楽しみにしております。●小平直史君＝ラッキーナンバーに当たって。

◆会長告知・八幡一成君＝昨日は一日雨降りでした。雨足が強い時もあり心配しましたが、今日は日が差してひと安心です。このところ日本各地でレベル 5 大雨特別警報が発表されていて、道路の冠水や家屋の浸水、土砂崩れ、ハザードランプがついて水没している車などの災害が報道されています。明日の諏訪地域は雨予報ですので予めの備えが肝要と思います。今日は、ニコニコ・ボックスについてご紹介したいと思います。ロータリーでは、喜び事やお祝い事、家族の出来事、ちょっとした失敗があった時にニコニコ・ボックスに寄付を入れる習慣があります。単にニコニコとか、ニコニコ箱、スマイル・ボックスと呼んでいるクラブもあるようです。

個人の自発的な寄付行為であって強制ではありません。会費や罰金ではなく、喜び事やお祝い事、家族の出来事、ちょっとした失敗などの近況を「ニコニコしながら」紹介し、その気持ちを寄付という形で現していると言えます。集まったお金はクラブの奉仕活動のための資金として使われます。

例会において、近況や慶事、小さな失敗談を面白く紹介することで、場を和ませ、会員同士の親睦を深める役割があります。同時に奉仕活動の資金も自然に集まるので、「親睦」と「奉仕の資金づくり」を両立させる仕組みになっています。ニコニコ・ボックスの集め方や紹介の仕方などは、そのクラブ独自の様々なやり方があるので、他クラブの会員と顔を合わせた時には、ニコニコ・ボックスは一つの話題になるように思います。

そのニコニコ・ボックスの歴史は意外と古く、日本では 1936 年 (昭和 11 年) から始まったと言われています。大阪 RC では、例会での早退や遅刻などに対する「ペナルティ・ボックス」が以前からあったそうですが、1936 年 7 月「ペナルティ・ボックス」の代わりに「ニコニコ・ボックス」が提唱されました。

具体的には、会員自ら、自分や家族の慶事や嬉しかったことなどをニコニコしながら披露し、皆で喜びを分かち合うこと。また、失敗したことをユーモアたっぷりに披露し、苦笑の中で親睦の増進に役立てること。そうして集まったお金を、主に奉仕活動資金に使うことなどがルールだったそうです。

その 2 カ月後の 1936 年 9 月には、東京 RC において「東京ロータリーホーム (関東大震災孤児の収容施設) の子どもたちを慰める会」の費用捻出のための寄付をクラブ会員にお願いし、例会で箱を回しました。その後、こうした試みが「ニコニコ・ボックス」とか「スマイル・ボックス」などの名称で、日本各地に広がっていったそうです。海外においては、シカゴ RC は 1905 年の第 3 回例会から、欠席者に 50 セントの罰金を課す「罰金ボックス (Fine Box)」を設け、その後、会員に記念すべきことや祝いごとがあった場合にも適用され、例会場の四隅にボックスが置かれるようになり、それが習慣となったそうです。

恐らく、このやり方が日本に伝わったのではないのでしょうか。海外では廃れてしまったようですが、日本では「お祝い事のお裾分け」「お陰様」「お互い様」といった考え方がニコニコ・ボックスとして定着したのではないのでしょうか。

諏訪 RC では、例会時に各テーブルにニコニコ・ボックスの用紙が置かれていますので、嬉しい事やお祝い事、ちょっとした失敗談などの近況やメッセージを書いて寄付を添え、親睦・クラブ親善委員会へ渡してください。金額は 2000 円から 3000 円位が目安でしょうか。強制ではありませんが、クラブ奉仕活動資金ですので目標はあります。会員ひとり当たり、月に 3000 円が目標です。この目標が達成されれば奉仕活動予算は余剰金が計上されますが、目標に届かないと本会計から補填することになります。ここ 20 年ほどは本会計から補填しています。特に対面での例会ができなかったコロナ以降の補填金額が多くなっています。

自分の誕生日や結婚記念日を含め、月に 1 回でよいのでニコニコ・ボックスへの寄付をお願いします。

また、例会時テーブルにまわしている小銭木箱や友愛のかごも奉仕活動資金となりますので、こちらへの寄付でもかまいません。皆様の善意をよろしくお願いします。

◆幹事報告・小針哲郎君代理五味武嗣＝1 本日は、前半にクラブ協議会「前年度会計報告及び新年度予算」について、会計の宮沢会員よりご報告いただきます。宮沢会員よりお願いいたします。後半は、八十二長野銀行 営業企画部 南澤様をお迎えし、恒例の経済講演をいただきます。南澤様 どうぞ宜しくお願い申し上げます。

2 皆様からお預かりしました「令和 8 年熊本地震への義援金」総額 37,000 円を、過日地区事務所へ送金いたしました。温かいご支援とご協力に感謝申し上げます。

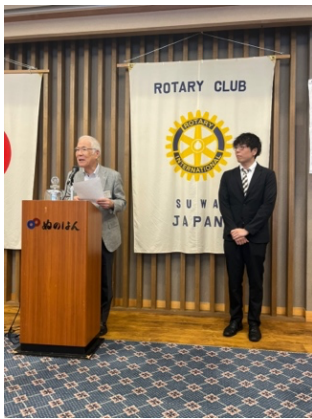
3 10 月 18 日 (日) 飯田市で開催されます地区大会の参加表明はお済でしょうか。当クラブからの申込み締切は【次週 9 月 4 日 (金) の例会まで】となっております。当日は貸切バスの手配も予定しております。ぜひ皆様のご参加お待ちしております。

4 本日の例会終了後 第 2 回定例理事会を開催いたします。理事、役員の皆様は速やかにお集まりくださいますようお願いいたします。

5 次回例会は 9 月 4 日 (金) です。橋上ガバナー公式訪問例

会となります。本年度 2600 地区の運営方針などお話しいただきます。年に一度の公式訪問です。大勢の会員の皆様で迎えたいと思います。

◆新入会員入会セレモニー●スポンサー河西正一君＝清水



さんのご紹介をさせていただきます。よろしくお願いたしますお名前は清水好一さん。会社は中部電力パワーグリッド株式会社、役職は諏訪営業所長さんでございます。

趣味はスポーツの方は自転車とジムに行くことということで、エアバイクなんかも趣味だそうです。それから室内娯楽は映画鑑賞ということで書いて

ございます。特技としては、いろいろなお酒を美味しく飲みますという、大変素晴らしい、親しみを感じてお付き合いしていただけるんじゃないかと思っています。心情としては、書いてあることは、私は個々の人に対し感謝とリスペクトを忘れず、協力しながら楽しく過ごすことを心情に、私生活と仕事に笑顔を絶やさずにやっておりますということです。

●清水好一君＝改めまして、こんにちは。中部電力パワーグリッド諏訪営業所の清水と申します。



まずはですね、この諏訪ロータリークラブという70年を迎えると聞いております。歴史と伝統があり、格式高いこの会に入会させていただくことを誠に感謝しております。ありがとうございます。私はですね、長野の勤務は初めてにはなるんですけれども、紹介していただいた通り、地元が山梨ですので、諏訪にはですね、よく子供の頃旅行に

来たりだとかっていったところで、非常に愛着とか親近感がある場所で働けることを今楽しく思っております。皆さんとですね、この諏訪ロータリークラブ、ヒーター諏訪全体をですね、盛り上げていけるように頑張っていきますので、これからよろしくお願いいたします。

◆クラブ協議会「前年度決算・新年度予算」●宮沢幸一君

＝2025-2026 年度 諏訪ロータリークラブ会計報告まずは為替換算レートですが前期は1USD＝145円、後期は156円となりました。

【収入の部】収入の部につきましては「今年度収入計」の予算額11,846,100円に対し決算額は12,038,313円となり、192,213円の計画比超過となりました。これは「会費」において予算では48名としておりましたが、後期において実質49名となり、+120,000円。あと、「賛助金」において計画の2名見込みから5名の実績となり、+90,000円となったことが要因です。なお、中間期では「周年積立金」勘定から600,000円を一時借入しましたが年度中に返済できたため年度末の勘定科目としては削除させていただきました。

【支出の部】支出の部につきましてはまず、裏面の上から1／3くらいのところにある「今年度支出計」をご覧ください。予算額12,833,544円に対し実績は12,291,591円となり、ロータリーにおける従来の決算表示では「+」で表現されますが541,953円の予算比圧縮となりました。ちなみに前年度の支出実績は15,537,689円でしたので1年間に3,246,098円支出削減となりました。以下、支出の内訳について概略をお伝えします。表面にお戻りください。

「R1分担金」ですが決算額は1,112,178円となり41,554円の超過となりました。予算では本部からの請求を48名分と見ていましたが実際は47名分の請求でしたので、本来は予算比マイナスなのですが、為替レートが円安に振れておりますので41,554円の支出超過となりました。

「地区分担金」ですが本部請求の人員が1名少なかったことが要因で決算額は1,334,800円となり、予算比28,400円の圧縮となりました。

「全国関係」につきましても主な要因は地区分担金と同じで決算額は614,860円となり、予算比24,860円の圧縮となりました。

「クラブ活動費」につきましては、主に「親睦・クラブ親善委員会」において決算額は685,938円となり、予算比314,062円の圧縮となりました。これは主に会員の自己負担額見直し等の効果もあり、前年度実績比でも569,371円の支出削減となっております。そのほか、各位委員会での支出削減効果により、予算比692,892円の圧縮となりました。

「クラブ運営費」では主に「例会費」において布半さまにも多大なご協力を賜ったほか、カレーDAYの設定などにより前年比では1,882,121円の支出削減となりましたが、予算比においては後期の会員が計画を実質的に1名上回ったこともあり、89,699円の超過となりました。

「交際費」においては瀬戸ロータリークラブとの懇親会等もあり前年比195,310円の増加、予算比でも111,510円の超過となりました。

「予備費 奉仕活動補填」につきましては本来、「ニコニコBOX」で賄うべき奉仕活動収入の不足分を補填したものです。その補填実績は235,911円となりましたが昨年比では365,133円削減、つまり改善はされております。それらを併せ、クラブ運営費は合計で7,212,645円となり予算比で162,645円の超過となりました。



以上、「本会計」につきましては前年度繰越金を含め、収入合計が13,255,910円、支出合計が12,291,591円となったことから、「次年度繰越金」を964,319円確保することができました。

次に「奉仕活動会計」について報告します。

「奉仕活動」の費用は先ほどお伝えしたとおり原則として「ニコニコBOX」に投じていただいた資金を原資として活動しておりますが、決算額790,689円に留まり、予算比259,311円の不足となりました。よって、これも先ほどお伝えしたとおりですが、本会計から235,911円を補填し支出額に合わせた1,026,600円を収入合計としました。「ニコニコBOX」につきましては前年度決算が629,131円でしたので161,558円増加しています。特に、半期決算においては323,472円でしたので会員の皆さまへのご協力を得られた結果、後期においては467,217円と前期の1.4倍強を計上することができました。

支出につきましては概ね計画どおり1,026,600円となりました。

下段に「ニコニコBOX」から始まる計6口座の通帳残高について記載がありますのでご確認ください。「本会計」口座につきましては、その残高が本会計における繰越金に該当します。前年度末から253,272円減少し964,319円となっております。あと、前回、口座名を変更させていただき「木箱寄付金」につきましては66,430円増加し、1,762,475円となりました。

続きまして本年度予算につきまして概略のみお伝えします。

クラブ計画書P18-19をご覧ください。

概ね前年度決算額をなぞって策定されております。

収入につきましては会員数を49名と見込み、12,470,100円を予算額としております。なお、前年度繰越金につきましては見込み値として300,000円と予算立てされておりますが、その実績が964,319円であることから664,319円の上振れとなります。これにつきましては後ほど説明します支出の部の「予備費」に補充されます。

支出につきましては「RI分担金」「地区分担金」「全国関係」につきましては会員数49名、1USD=160円と見込んで予算計上されております。

「クラブ活動費」は概ね前年度どおりで予算計上されております。

「クラブ運営費」につきましては「予備費」を備考欄記載のとおり「前年度繰越金が確定後、予算との差額を予備費に繰り入れる」とあることから、そのとおりに予算処理をしますと「予備費」は796,239円となります。

「奉仕活動会計」につきましては収入にて「ニコニコBOX」1,764,000円を予算計上しています。これは前年度実績の2.2倍強となりますので会員の皆さまのご協力に期待いたします。さらに、今年度は「木箱寄付金」につきまして、従前備蓄金に該当する1,700,000円を当会計に計上します。

支出では「諏訪市の子ども教育支援」につきまして前年度実績は200,000円でしたが、今年度は「70周年記念事業総額」として810,000円を予定し「地区補助金」401,000円を控除した409,000円を予算計上しています。そのほかの支出科目を合計し1,589,000円を予算とし、その差額1,875,000円を「予備費・次年度繰越金」として確保する予算となっております。

●折井俊美君＝立派な決算書ができたんじゃないかとご報告させていただきます。ありがとうございました。

◆経済講演●八十二銀行営業企画部南沢浩様＝皆さんこんにち。

八十八長野銀行の南澤でございます。伝統あるこの諏訪ロータリークラブ様にまたお呼びいただきまして誠にありがとうございます。今回で3度目となります。最初に謝罪から入らせていただきます。前回、私が行ったのは1月30日だったと思います。日経平均は53,300円ぐらいですかね。そして今日は66,600円ぐらいです。年末、今年の年末5万7千円ぐらいかかっていうお話を差し上げました。年末にはなっていませんが、とりあえず今、謝罪だけさせていただきます。本当にこんな形で上がってくるとは、もう思ってもみなかったと。多分、日本全国で7万2千円という数字を予想した人は、あの時点で。一人もちょっとおりませんもんで、言い訳をさせていただきます。よろしく願いいたします。

GDPが発表になってまいりました。46の名目GDPの方が687兆円と、こちらの方は九四半期の連続年率換算で4.8%増といった形です。実質はちょっと入れておりません。実質の方は0.02%減2年ぶりのマイナスGDPの変遷をちょっと書いてございます。昔にちょっと戻っていただいて1973年ですかね53年前にこれ100兆円を超えてまいりました。1992年500兆円上回るまで約5年にごと100兆円増加していったというような形ですよね。これが2010年に、全国に抜かれ、2023年にドイツに抜かれ、現在日本は世界第4位というところでございます。そして来年、これIMFの予測になりますが、来年インドに抜かれちゃうんじゃないかと、今言われているところでございます。ただこの500兆から600兆なかなか行かなかったです。この600兆円っていうのは、亡くなったアベノミクス、安倍さんの時の政府目標なんですよ。それが8年越しに賃上げ率。こちらの方は5.01%、年側の方の数字になります。三年連続でこちらの方は5%超えてきました。そして、CPI消費者物価指数の方は、去年まで日銀が目標とする2%を大きく上回っていました。ところが今年に入ってきて2%は終わってきています。ついこの間出た7月のCPIも1.8%前月比1.8%増というところになっています。あとその下の実質賃金上昇率。こちらの方も2025年去年は一年間ぶっ通しでマイナスでした。

ところが、今年の1月からプラスに転換して六ヶ月連続でプラスになってます。6月の数値は1.6%です。こちらの方は政府の物価高対策と、あとガソリン税ありましたね。ガソリンの補助金の再開延長等々ございましたので、そちらの方が寄与しているという形になってます。ただし、ここに来てまた中東情勢の方が暗礁に乗り上がってきてますよね、いまだにこれ原油の方が高止まりしていると。そしたら政府の補助の方もそろそろ終わりそうな形の気配を見せているという形になってきていますので、ちょっと年末にかけて非常に経済動向をちょっと慎重な目の方がよろしいかなという形を思っています。





皆さん、もうお買い上げになっているとは思いますが、投資信託の今の状況というのは、ちょっと皆さんにお伝えいたします。投資信託に年間でいくら入ってきたかっていうのを示してあります。2024年からちょっと様変わりしてます。これはなんでっていうこと。これは皆さんやってらっしゃる新NISAこれが投入になって24年から様変わりして

ます。特に今年。7月末までで15兆円弱のお金が入ってきてます。今、投資信託っていうのは、日本の投資信託は6000本あります。そのうちのNISAが使えるのは2000本弱っていうところです。海外の株式投信が7月末で十兆円を超えてきていると。

もう世の中の流れはこんな形になってます。それをまざまざと示しているのは次の円グラフです。もう海外株式オンリーみたいな形になってますけれども、じゃあ減ったのは何っていうと、海外債券と内外リートです。どうしたっていうと、当時のこの形のやり方が毎月の分配型だったんですね。毎月毎月分配金はいただいている投資信託っていうのが非常に人気があったわけなんです。ところが今回のNISAは、その毎月分配分配金型は排除すると。いう形になってます。ですので、10年間の動向になってきているという形になってます。あの毎月分配型の比率、2016年は60%ぐらいありましたが、今現在12%程度しかございません。それから新NISAについて言うと、2027年の1月から、これ子供NISAっていうのが始まってまいります。ですので、お孫さんのためにか、息子さんのためにちょっと引越して見るのも一つの手かなという形は思ってます。

今も日本も米国も欧州も世界各国で金利が上がってます。そして前回、新春相場の時にこちらの方はもうどんどんと金利が上がりますよって皆さんにお伝えしたと思います。それは見事に当たってますんで、勘弁してください。で、これからどうなるのっていう話なんですけど、まだまだ上がると思います、こちらの方は。いわゆる日銀が決めてる、はっきりしてないんですけど、このチャートっていうのはこのグラフになってますね。グラフになっているものから見ると、遮るものが何一つないんですよ。遮るものがなくなってますので、非常にちょっと金利は高くなる。

皆さん勘違いなさらないように。要するに金利が上がるってことは経済がうまくいる。そういうことではなくて一番のきっかけとなったのは高市さんの骨太ショックってやつですね。骨太の方針っていうのを出しました。そうしたところ財政健全化という文字が消えちゃったんですね。これを境にこの金利が2.9%まで上がってきている。ちなみにこの面白い話で、前回の石破さんの時から高市さんになって減った、文字。一番多いのは地域って言葉が減りました。そして何の言葉が増えたかっていうと、投資という言葉が増えたんです。

投資、成長、戦略。ですので、言ってみれば、財政の地域から投資へというスタンスがあからさまに出てきてる。じゃ

あ、そこのお金はどこから持ってくるのまた赤字国債なのっていう風に市場は見てきてるわけなんです。ですので、皆さんも注意深くちょっとこちらの方は見ていただきたいなと思っています。いわゆるV計算値。13年前に流行った半沢直樹のやられたらやり返すね。今回なんと7万777円をクリアしてしまいました。ですので、変な話ですが、V計算値倍返しを達成しました、この後っていうのはもう青天井しか考えられなくなってくるんですよ。ただし、ちょっとこの上半期っていうのはやりすぎてますので、おそらくこの半年ぐらい、四ヶ月ぐらいはちょっと締めを作りながらの展開になってくると思います。

もし鉛筆を持っている方がいらっしゃいましたら、その下にちょっと書いていただきたいんですが、今回の相場っていうのは、もうAI半導体関連株の完全なるこの相場だったわけですね。ですので、トピックスっていうのはまだ倍返しを水準に達してません。ですので、バブルの最高値っていうのは、トピックスは2884ポイントです。そしてリーマンショック後の安値が695ポイントです。

その下げ幅は2189ポイントですので、2189ポイントに2884ポイントを足していただくと、5073円という数字が出てきています。ですので、日経平均がこの7万777円をクリアしてきた以上、このトピックスの5073円も非現実的ではないです。かなりの確率が私は可能性あるんじゃないか。ここから皆さん、ちょっと投資を始めていくっていう方がいらっしゃいましたら、何も言えない半導体関連の株を買うのではなく、やはり金利を上げて恩恵を受ける。例えば銀行株とか保険株とか商社株、こういった部分の方が私自身は。

よろしいかなと思っております。次回、来年ぐらいたまた呼んでいただけたときに、当たってたら拍手をしていただきたいなと思っております。日本株の保有率、海外投資家35%近くになりました。今年、この全体の数値で1/3を超えてきました。初めてでございます。もともととってという展開になると思います。下から二番目、日経平均の寄与度の銘柄、一番はアドバンテストです。次に来る銘柄は東京エレクトロン、ソフトバンクグループそしてキオクシアや、そして全然畑の違うファーストリテイリングという、この五銘柄が上がれば日経平均は上がります。下がれば日経平均は下がります。ですので、非常にいびつな単純平均という形です。

こちらの方の海外売買シェアは変わらずの70%です。そして今度12月6日から。ニューヨーク市場とナスダック市場は23時間取引を始めます。23時間取引です。ですので、東京が開いている時間に、日本人は今度ニューヨークの株とかナスダックの株が買えるわけです。

韓国の市場っていうのも、今非常にあの、旺盛になっておりますけれども、韓国市場もそのような方向で進んでいるということ。また、東京がちょっと取り残される気がしてなりません。ちょうど日経平均が7万円突破した時の時価総額のランキングです。これが歴史的なことが起こりました。ですので、今までトヨタがずっとトップはしてたんですが、ここでソフトバンクグループとキオクシアに変わってきております。キオクシアは、半導体のメモリーを作っている会社です。昔の東芝メモリーっていう会社です。ですので、昔のって言葉をつけましたが、東芝の子会社だったんですね。そして東芝が真っ赤っ赤になっちゃって、分社化をしたんです

ね。えらいの分社化しちゃったよね。今のところはすごい株になりましたよね。ただし、二ヶ月後の昨日のトップはトヨタです。2位は三菱UFJです。3位はソフトバンクグループに変わってます。2025年度、個人のお客さんは何の株を買ったのっていうのを書いてございます。一番増えたのはソフトバンクっていう株です。二番目がNTT、三番目が新日本製鉄、日本製鉄ですね。こんな形になってます。要は株式分割をして買いやすくなった銘柄が上位を占めている。

若者が非常に買っているということになるわけですね。東京海上っていう株が15分割、この9月末にするよっていう記事を出しました。この15分割っていうと、76万円で百株買えるところを今度5万円で買えることになります。

おそらく来年のこの増加ランキングには東京海上が入ってくると思います。だからといって株価上がるかって言ったら、そうとは限りません。こんな形になっています。皆さん、72,831円というのをちょっと覚えておいてください。これ25日移動平均線って言います。前の25日間の終り値を足して25で割ったものが25日移動平均線です。左側から見てってください。グーッとその線にさって上がってきてますよね。そしてイランに戦争を仕掛けて、その25日線を割れて、この25日移動平均線が、いわゆる生命線となって上がってきたわけです。ところが今回、それは割り込んできています。そして何日経っても今これ浮かんできておりません。移動系平均線の上に実践がいれば支え、下に実践がいるとそれが抵抗になります。ですので、これからの相場環境どうなるかという、もうこの6月、8月14日につけた69,600円。そしてなんといっても6月22日の7万6千円。これをブレイクしていかないと、新しい相場には入っていかないという形になるわけです。

9月はちょっと買ってみてもいいところに来てるんじゃないかなと思ってます。なにしろこの上半期、やりすぎました。もちろんこれ変な話、業績が裏付けしているもうものがあります。つい昨日、アメリカのNVIDIAっていう株がこちらの方、決算を発表しました。四半期で売上高1000億ドルですよ。日本円に直すと16兆円ですよ。一年じゃないですよ。四半期三ヶ月間。もうそんなとこまで世界のナンバーワンの会社は来ているというこですよね。時価総額820兆円です。日本のGDP668兆円です。8月31日の終値から大納会までの騰落率を書いてございます。どうでしょう。ほぼほぼ上がっているんですが、この赤い線で引いてあったところが、米国の中間選挙があった年です。今年11月3日にありますよね。ですので、こういった形を見るとどうなるのかなという形で思っております。あとちょっとS&Pは、こちらの方はもう本当に前回お話し申し上げた倍返し、半値押し、倍返し、半値押しで非常にいい動きをしております。ですので、今、倍返しの位置まで届いておりますので、ここからちょっと買っていくのは、私あんまりご賛成はできません。

ちょっと押し目が入ったところを買っていただくという形がよろしいかなと。こちらはS&Pの1928年からの回とございます。こちら9月は弱いです。なおかつ、9月15日以降はほぼ勝率が半分を切ってます。ですので、先ほど申し上げた通り、アノマリーを信じるならば、この9月の終わりというのは非常に美味しいところに来るのかなと思っています。そして最後にちょっと為替の方だけ言わせてください。

前回の資料は8年サイクルの延命と書きました。今回は終焉という言葉を使っております。ご覧のように右の上、7月23日、163円99銭ここまでつけてきました。ですので、平たく言うと、8年間のサイクルをブレイクしてきたということになるわけです。ところが、ここにきて協調介入も踏まえて。12兆円と言われてるんですが、まあ強化したぐらいに正式な数字が出てくるはずですよ。これどう見てもやはり円の円高という雰囲気にはやっぱりなりにくい。

今回もこれ152円20銭までしかいきませんでした。12兆円。協調介入してもです。これは前回もお伝えしたんですが、まず一つ目は貿易収支の向上化でね。赤字の向上化。もう1つが、各企業がもう海外で稼いじゃって、そのお金を日本に持ってこれないよ。

それから3つ目としては、先ほどお話しした投資信託、個人マネーの買いがもう海外に流れていってる。NISAで買うとすると、今日買って明日売るっていうお金はないわけですよ。今日買ったら10年後、20年後っていう形になるわけです。そして最後の4つ目はデジタル赤字。いわゆるスマートフォンですよ。皆さんもスマートフォン、おもてはグーグルのマーク後ろをひっくり返せばリンゴのマークがあるわけです。全部デジタル赤字として、まあ今期7兆円の赤字です。2030年には、経済産業省の試算だと18兆円まで赤字が行くのではないかとされているわけです。どうしても日本経済が円安の構造になっているということだけ頭に入れてください。何回も介入をしたところで、おそらくあの一度ブレイクしない限りは140円近辺までには戻らないんじゃないかなというような感じがいたします。

また最後に、あの兜町に伝わる相場格言というのを前回ご紹介させていただきました。午年っていうのは、馬尻下がりというのが相場格言でございます。ですので、ここから残りの4ヶ月、それもちっと頭の片隅に入れていただいて、相場の方をうまく運用していただければなと思っております。

ご清聴ありがとうございました。

◆今後の例会日

9/ 4(金)	ガバナー公式訪問
9/13(日)	諏訪湖RC 合同 諏訪湖清掃
9/18(金)	ゴルフ例会
9/25(金)	ロータリーの友特別月間